

2023年度
学校だより
第11号

こころ

牛久第一中学校
令和5年11月15日
文責 校長 本橋和久

令和5年度合唱コンクール～11月9日(木)

合唱コンクールは、本校の経営哲学である「卓越性の追求」、そして実技教科を中心とした「アートの教育の実践」の両方が求められる重要なイベントです。そして今や合唱は牛久一中の学校文化でもあります。音楽の授業で学んだことを各学級でさらに磨き上げ、また音楽の授業で修正する。どの学級もそのようなサイクルで自分たちの最高のパフォーマンスを目指してきました。そして本番では、どの学年のどの学級も自分たちの最高のハーモニーをホールの隅々まで届けていました。特に3年生の演奏を目的



金賞 3年2組

の当りにして、その完成度の高さに驚いている生徒たちが多く見られました。3年生になるとここまでレベルになる。まさにこれが牛久一中の学校文化です。午後には、吹奏楽部、男声有志合唱団、女声合唱団、混声合唱団の演奏、そして職員のパフォーマンスで大いに盛り上がり、最後に全員で「大切なもの」を歌って締めくくりました。伴奏のサポートをしてくださった原さん、山本さん、当日の受付を手伝ってくださったPTA役員の皆様、最高の音響設備を設定してくださった文化ホールのスタッフの皆様にご心から感謝申し上げます。



金賞 2年4組

- ◇金賞 1年3組 「アルデバラン」「全力少年」
- ◇金賞 2年4組 「虹」「君と見た海」
- ◇銀賞 2年3組 「青いベンチ」「小さな恋の歌」
- ◇金賞 3年2組 「奏」「群青」
- ◇銀賞 3年1組 「3月9日」「Soon Ah Will Be Done」
- ◇指揮者賞 久松隆心(1の1) 伊室和奏(2の2)
大胡依里(3の3)
- ◇伴奏者賞 柴山夏恋(1の3) 岡野杏衣(1の1)
坂本愛唯(2の4) 有福颯太(3の2)

【清水匠先生の講評(要旨)】

- ・3年生は音楽性が高く圧巻の演奏。幸せや充実感が感じられる。学級のみならず乗り越えてきたプロセスにも意味がある。
- ・1年生、2年生も音楽性は言うことなし。次は3年生から学んだことを自分たちの合唱に生かしてほしい。
- ・校内の合唱コンクールではクラスの一体感が問われる。上手な人がひとりで歌っても届かない到達点。それはブレンド感。この曲をどう表現するかを共有しているかどうか。

ありがとうございました。



金賞 1年3組



自分達でパート練習(10月)

2年生・芸術鑑賞会 「能楽ワークショップ」～10月31日(火)

2年生が地域在住の能楽師、山中一馬先生による能楽ワークショップに参加しました。体育館に設置した能舞台を取り囲むように生徒たちが座り、始めに山中先生が能楽の歴史や特徴を説明してくださいました。続いて代表生徒が舞い、小鼓、大鼓を体験しました。いずれも簡単そうに見えて実際にはよい音を出すのはとても難しいことがわかりました。それからいよいよ能の鑑賞です。曲は世阿弥作の「敦盛」。国語の時間に事前学習をしてあらかじめ理解していました。今回は後半の敦盛が蓮生を許して刀を落とすクライマックスの場面。生徒たちは非日常の動きと六百年前と同じ台詞や音楽に釘付けになっていました。質問コーナーでは多くの手が挙がり、山中先生がそれらの質問に丁寧に答えてくださいました。生涯のうちで能楽に触れる機会を得たことは、ひとりひとりの生徒にとってどのような意味をもつのでしょうか。



能で使われる楽器の説明



敦盛の亡霊が舞う「敦盛」の後半



非日常の世界に釘付けになる

【合唱コンクール～生徒の振り返り】

初めて中学校の合唱コンクールに臨んだ1年生の振り返りを抜粋しました。

- ◇伴奏者はみんなのために、みんなは曲を成り立たせている指揮者、伴奏者のために、努力し続けてきた自分たちの成果を出せたのだと思います。
- ◇金賞は取れませんでした。心を一にする目標が達成できました。
- ◇先生は絶対完成すると言っていましたが私はものすごく不安で半分あきらめかけていました。でも私はパートリーダーなので簡単にはあきらめられないので複雑な気持ちになりました。がんばって練習した結果、先生を泣かすほどの仕上がりになりました。
- ◇全力少年やリメンバーミーなどの曲を聴いて心が晴れました。今思うと音楽ってすごいな～と感じました。

- ◇ピアノあつての合唱だと思っていましたが、3年1組の無伴奏の曲にもものすごく心打たれました。やはり音楽はすばらしいなと思いました。
- ◇先輩方の合唱を聴いて、1・2年生の努力する時間の差で実力や結果がここまで大きく変わるのかと思い知らされました。
- ◇合唱コンクールで学んだ「みんなで一つになること」は普段の学校生活にも生かせると思います。例えば、みんなで話し合ったり、運動したり、集団行動にも使えると思います。
- ◇これから生かしていきたいことは、ひとつのことに向かってきちんと目標を立て、実行していくことです。
- ◇3年生や2年生の演奏は男声パートの音がひきかたっていて、自分が2・3年生になったらこのような声を出して、次の一年生に感動してもらえるような演奏をしたいと思いました。